

第22回（昭和56年度）東レ科学技術賞候補者の推薦募集

上のことについて、東レ科学振興会から、当学会に受賞候補者の推薦を依頼してきました。推薦を希望される会員は、所定の用紙に研究業績および略歴を記入し、10月15日までに学会事務局へ提出して下さい（用紙は担当理事にご請求下さい）。なお、この賞の詳細は下記のとおりです。

記

1. 候補者の対象

本学会に関する分野で、つぎに該当するもの

- (1) 学術上の業績が顕著なもの
- (2) 学術上重要な発見をしたもの
- (3) 重要な発明をして、その効果が大きいもの
- (4) 技術上重要な問題を解決して技術界に貢献するところが大きいもの

2. 科学技術賞

1件につき、本賞：金メダル、副賞：300万円（2

件以内の予定）

3. 候補者推薦件数

1学協会から2件以内

4. その他

(1) 候補者は、必ずしも気象学会会員でなくてもよいが、気象学会においてその仕事が発表され、十分な討議をへたものであることが望ましい。

(2) 受賞者は、原則として1件1人とする。特に複数であることを必要とするときは、それらの研究者の寄与が同等であることを示す必要がある。ただし、この場合でも1件として取り扱う。

[担当理事] 竹内清秀

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内
東京管区气象台

電話 (03) 212-8341 内線419

第22回（昭和56年度）東レ科学技術研究助成候補者の募集

上のことについて、東レ科学振興会から、当学会に助成候補者の推薦を依頼してきました。研究助成を希望される会員は、所定の用紙に研究題目・研究目的・助成希望金額等を記入し、10月15日までに学会事務局へ提出して下さい（用紙は担当理事にご請求下さい）。なお、本助成金の詳細は下記のとおりです。

記

1. 候補者の対象

本学会に関する科学技術の基礎的な研究に従事し、その研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる研究を行っている研究者、またはそのグループ。

2. 研究助成金

総額1億円前後、1件1,000万円程度としますが、あまりこの額にとられる必要はありません。特に重要と認められる研究については3,000万円程度でも助成を考慮。

3. 候補者推薦件数

1学協会から3件以内

4. 推薦者

学協会の代表者

5. その他

(1) 候補者は、必ずしも気象学会会員でなくてもよいが、気象学会においてその仕事が発表され、十分な討議をへたものであることが望ましい。

(2) 環境問題等人類の生存に関係の深い基礎的な研究についても配慮してほしい。

(3) 本研究助成金は、研究目的を達成するために必要なものであれば、どのように使われるものを申請してもよい。ただし助成金受領後、その用途を変更する必要が生じた場合は、予め東レ科学振興会の承諾を得ること。助成金は必ずしもその年度内に使い切る必要はない。

(4) 助成金の受領者に対しては、研究経過および研究成果の報告を求めるほかには、特別の条件はない。

[担当理事] 竹内清秀

〒100 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内
東京管区气象台

電話 (03) 212-8341 内線419